

NT東京に出展 CanBadge開発レポート

お蔵入り寸前からイベントデビューまで

のりちゃん

2025.09.11

01 自己紹介

のりちゃん (Noricha)

職業：ゆるふわプロンプトエンジニア

お仕事：個人開発でWebサービスを作って売る

言語：Python (Django)

使命：テクノロジーで世界をちょっと便利にすること



02 導入

NT東京に出展してきました（1日参加）

出展物：CanBadge（缶バッジ作成体験）

今回は個人開発集会メンバーと同じブースで出展

- ヨナさん
- ジンさん
- (chokuwo) さん



03 出展の動機

きなこさんに声をかけてもらった

VketRealに出したかった
(昨冬は落選 / 今夏はオフ会準備で申込せず)

このままではお蔵入り → 危機感から出展決定！



04 CanBadgeとは？

その場で缶バッジを作れる体験サービス

ホームページ: <https://canbadge.kojin.works/>

フロー：画像選ぶ



黒い線の内側が缶バッジの正面から見えます
黒い線の外側は缶バッジの側面から見えます

タッチ操作

- 👉 1本指でドラッグ: 画像を移動
- 👉 ピンチ: 拡大・縮小
- 🔄 2本指で回転: 画像を回転

04 CanBadgeとは？

その場で缶バッジを作れる体験サービス

ホームページ: <https://canbadge.kojin.works/>

フロー：画像選ぶ → 印刷

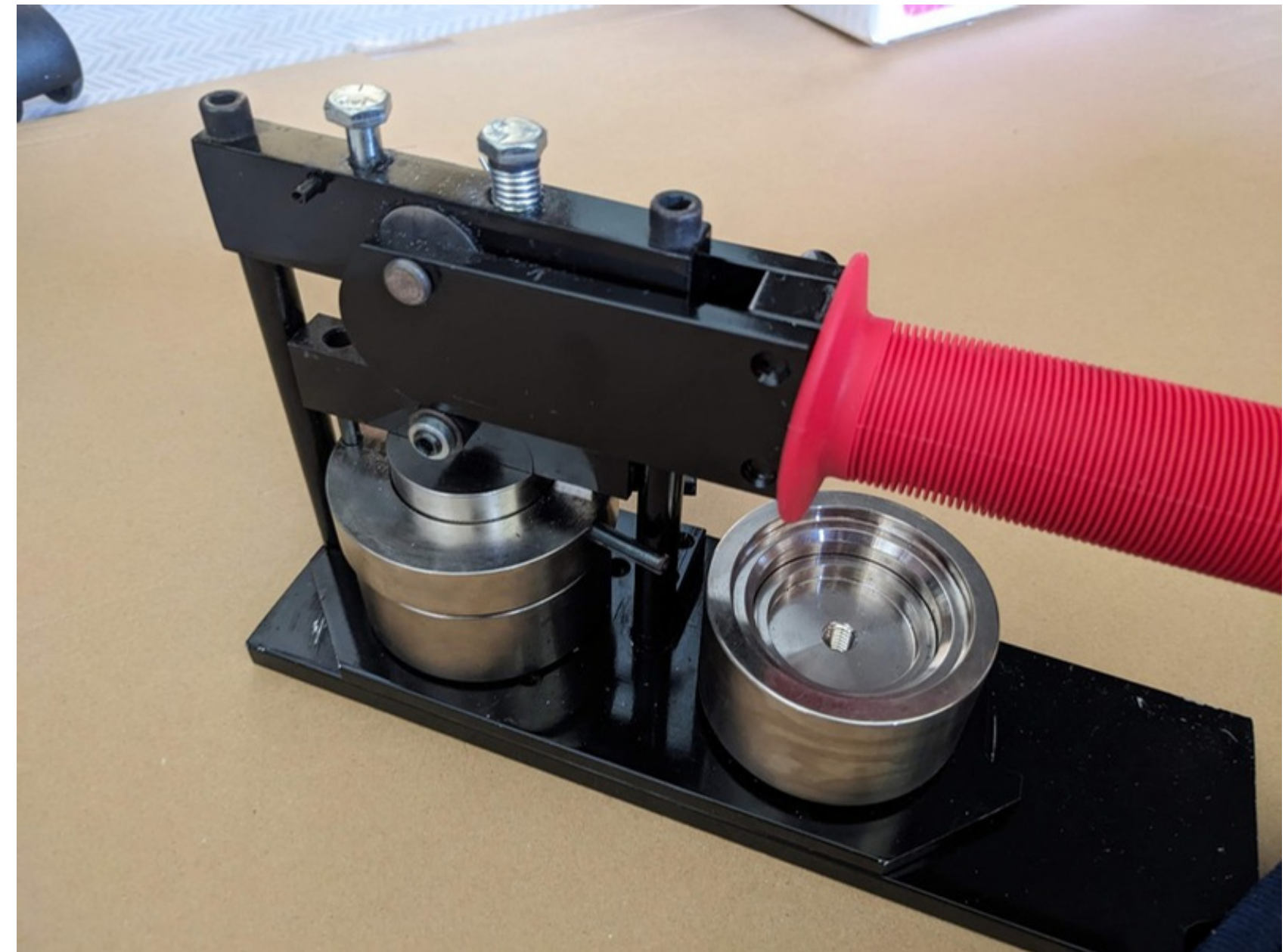


03 CanBadgeとは？

その場で缶バッジを作る体験サービス

ホームページ: <https://canbadge.kojin.works/>

フロー：画像選ぶ → 印刷 → プレス



04 CanBadgeとは？

その場で缶バッジを作れる体験サービス

ホームページ: <https://canbadge.kojin.works/>

フロー：画像選ぶ → 印刷 → プレス → 完成！



05 技術スタック

SvelteKit製

きっかけ：NeverClearさんの勧め

「Svelte4」

代入するだけでUIが更新

Svelte5で書き方は変わったが思想は継続

```
App.svelte +
1  <script>
2    let name = 'のりちゃん';
3  </script>
4
5  <h1>Name: {name}</h1>
6
```



Name: のりちゃん

06 画像編集の仕組み

回転・拡大縮小・移動をCanvas変換で適用

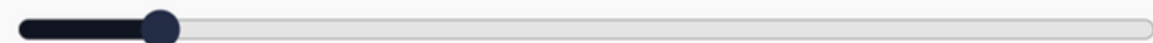
scale(%) / rotation(°) / offsetX, offsetY(px)

出力は円形マスクでトリミング → PNG生成

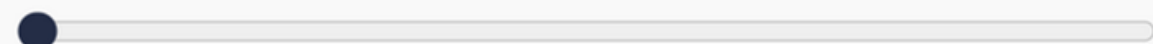
モバイル: ピンチズーム / 2本指回転

PC: スライダーUIで拡大率・回転・位置を調整

拡大縮小: 100%



回転: 0°



左右: 0px



上下: 0px



```
function drawImage() {  
  if (!ctx || !previewCtx || !imageUrl) return;  
  
  const img = new Image();  
  img.onload = () => {  
    // Clear both canvases  
    ctx!.clearRect(0, 0, canvas.width, canvas.height);  
    previewCtx!.clearRect(0, 0, previewCanvas.width, previewCanvas.height);  
  
    // Calculate fine-grained scale  
    const fineScale = scale / 100; // Convert percent to decimal  
  
    // Draw on main canvas  
    ctx!.save();  
    ctx!.translate(canvas.width / 2 + offsetX, canvas.height / 2 + offsetY);  
    ctx!.rotate((rotation * Math.PI) / 180);  
    ctx!.scale(fineScale, fineScale);  
  
    // Draw on preview canvas  
    previewCtx!.save();  
    previewCtx!.translate(previewCanvas.width / 2 + offsetX, previewCanvas.height / 2 + offsetY);  
    previewCtx!.rotate((rotation * Math.PI) / 180);  
    previewCtx!.scale(fineScale, fineScale);  
  
    // 画像のアスペクト比を維持しつつ、キャンバスに合わせて拡大縮小  
    const aspectRatio = img.width / img.height;  
    let drawWidth: number, drawHeight: number;  
    if (canvas.width / canvas.height > aspectRatio) {  
      drawHeight = canvas.height;  
      drawWidth = drawHeight * aspectRatio;  
    } else {  
      drawWidth = canvas.width;  
      drawHeight = drawWidth / aspectRatio;  
    }  
  }  
}
```

07 印刷の仕組み

L判（89×127mm）用紙に
CSS物理単位でレイアウト

缶バッジ仕上がり直径: 48mm

管理画面から新規ウィンドウ
→ `window.print()`で印刷

印刷時設定: 等倍 / 余白なし
ヘッダー・フッター非表示



08 改良ポイント

オフ会で2回テスト → 本番前に改良

L版1枚に2絵柄印刷（複数選択対応）

重い画像で画面が重い問題 → ページネーション導入

CanBadge					
印刷リクエスト管理 合計: 83件（待機中: 7件、完了: 76件） ページ 3/9 選択中: 2/2 選択した2つをまとめて印刷					
選択	ID	ステータス	作成日時	プレビュー	アクション
☐	692505	完了	2025/09/06 10:44		再印刷
☒	596118	完了	2025/09/06 09:58		再印刷
☒	214437	完了	2025/08/19 23:11		再印刷

09 既知の課題

**管理画面でページをまたいだ
複数選択不可（運用で回避）**

**テザリングだと読み込みが重い
→ アップロード時にリサイズ検討**

10 数字で見るCanBadge

価格: 500円/個

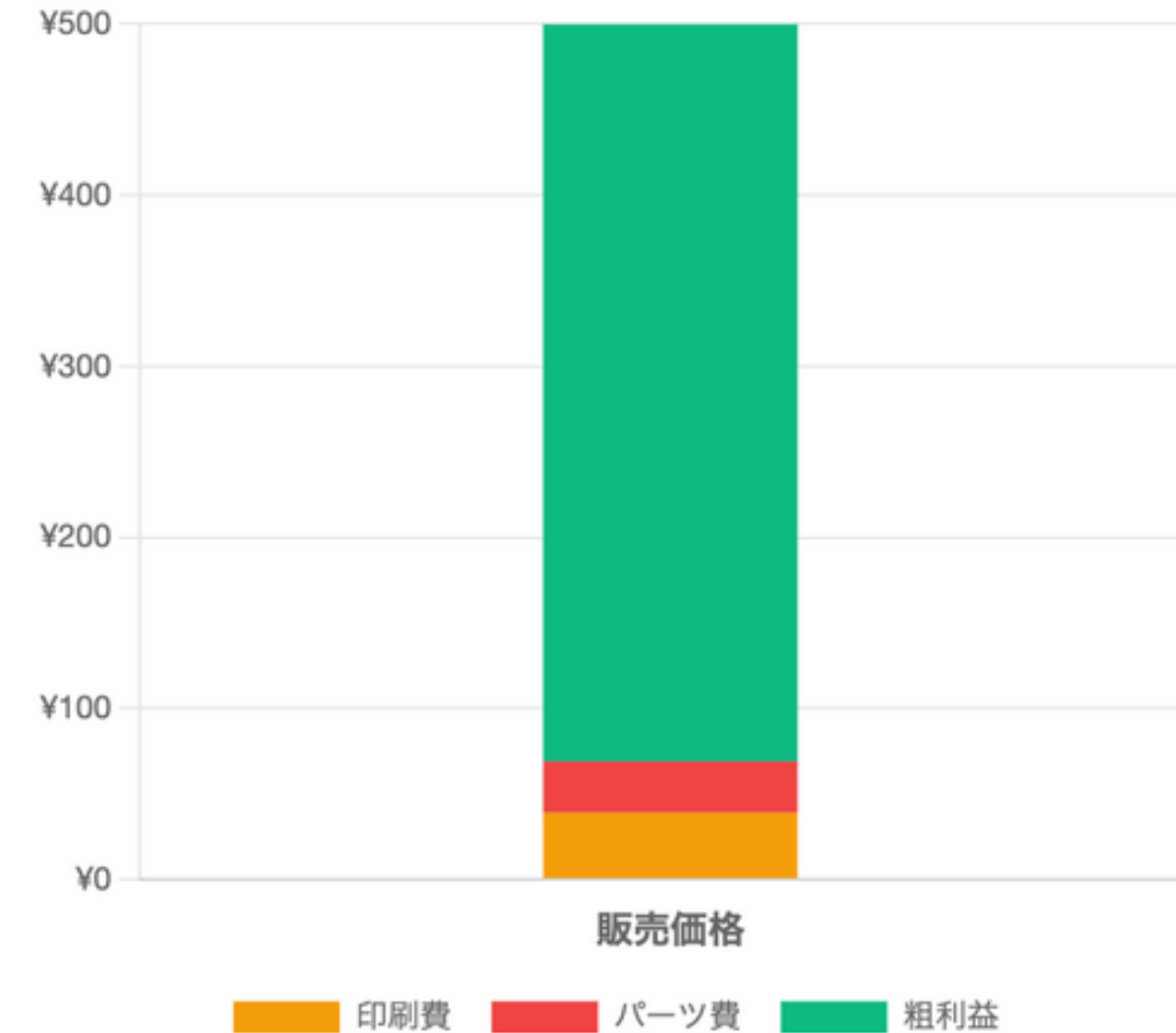
材料コスト/個: 約69円 (印刷39円 + パーツ30円)

売上: 11,000円 (22個)

材料コスト合計: 約1,520円

粗利益: 約9,480円

価格構成分析



原価/個
¥69

粗利益
¥431

粗利益率
86.2%

原価率
13.8%

10 数字で見るCanBadge

価格: 500円/個

材料コスト/個: 約69円 (印刷39円 + パーツ30円)

売上: 11,000円 (22個)

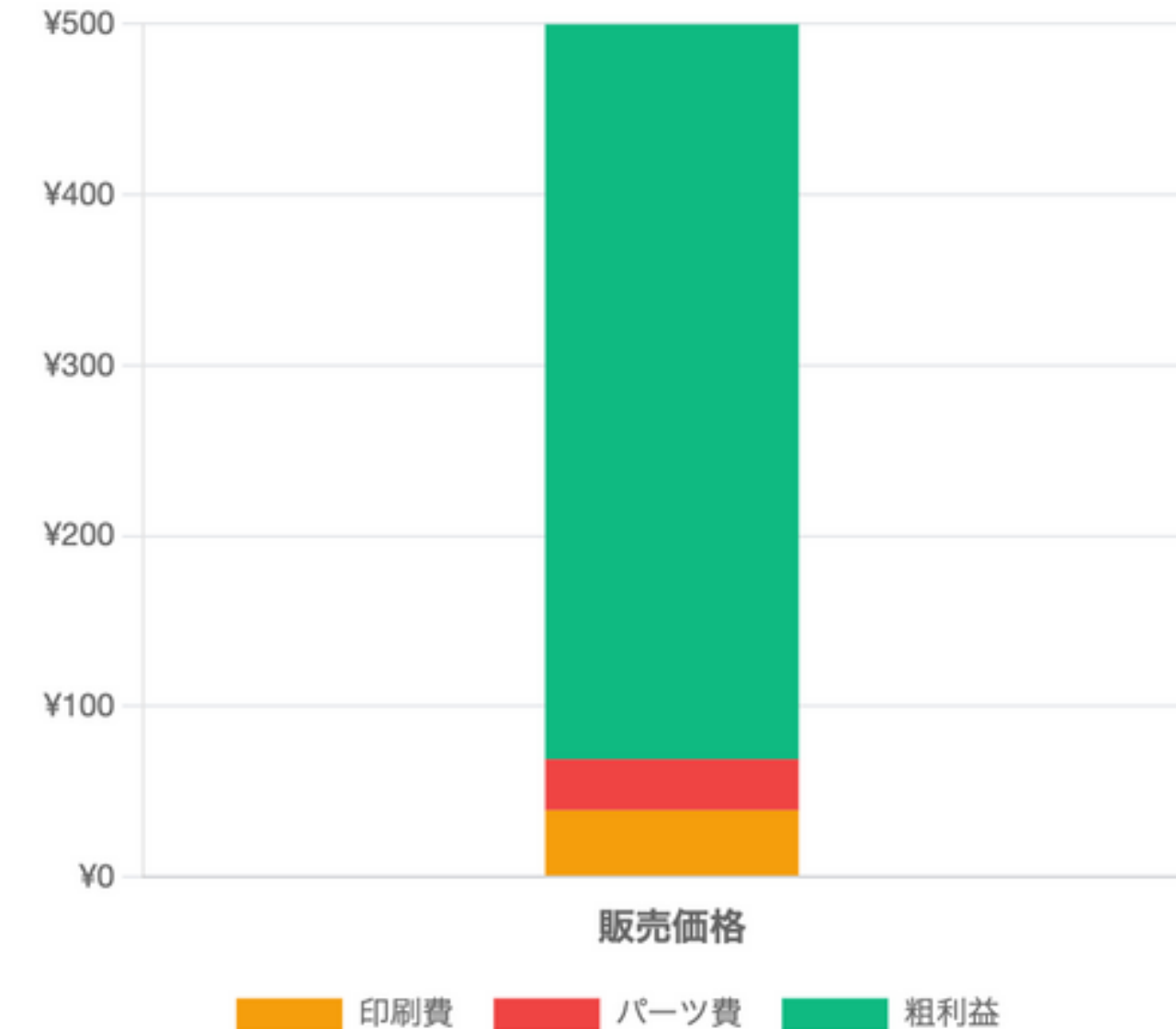
材料コスト合計: 約1,520円

粗利益: 約9,480円

初期費用: 62,750円 (マシン+プリンタ)

実質: ▲53,270円 🏠

価格構成分析



原価/個
¥69

粗利益
¥431

粗利益率
86.2%

原価率
13.8%

11 会場の様子

子ども～大人まで楽しんでくれた

完成した瞬間の満足感◎

VRChat関連の出展：約7ブース

他のメンバー出展：

- Zin さん → PoE Tシャツ
- よな さん → Z80
- Chokuwoさん → Metamory



11 会場の様子

子ども～大人まで楽しんでくれた

完成した瞬間の満足感◎

VRChat関連の出展：約7ブース

他のメンバー出展：

- Zin さん → PoE Tシャツ
- よな さん → Z80
- Chokuwoさん → Metamory



12 まとめ

リアル体験×開発は面白い！

即フィードバックで改善点が見える

NT東京＝面白いモノが集まる祭！

見ても楽しい、出すともっと楽しい

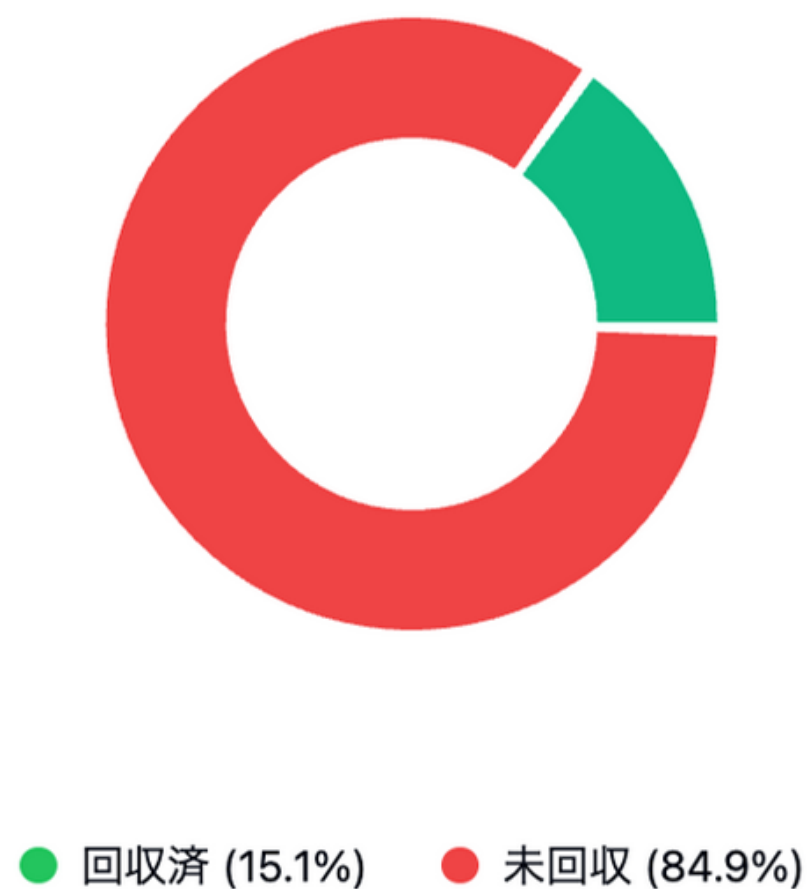
次回はぜひ遊びに行ったり出展してみてくださいね！

個人開発集会としてもまた出したい！

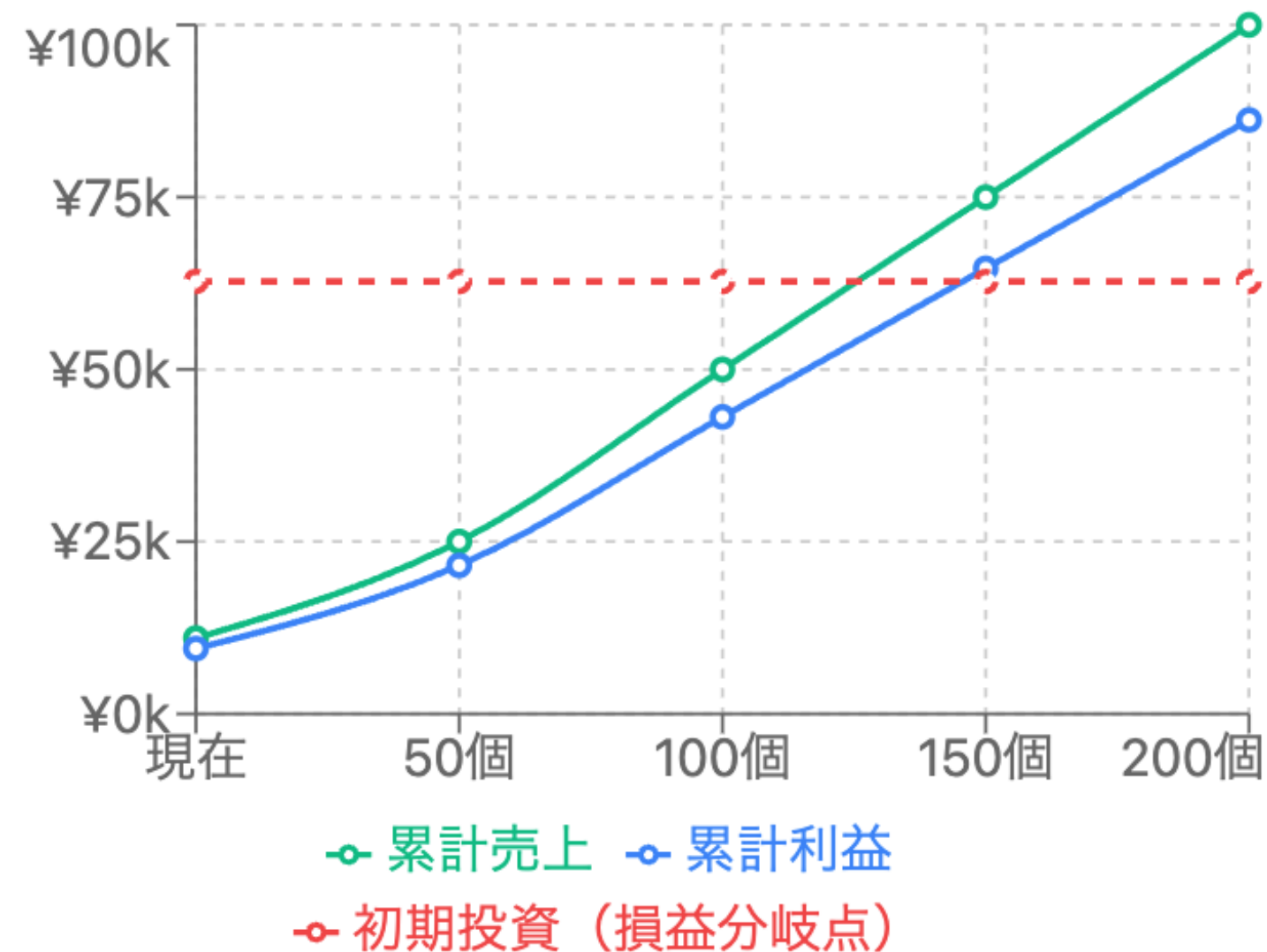


おまけ

回収状況の内訳



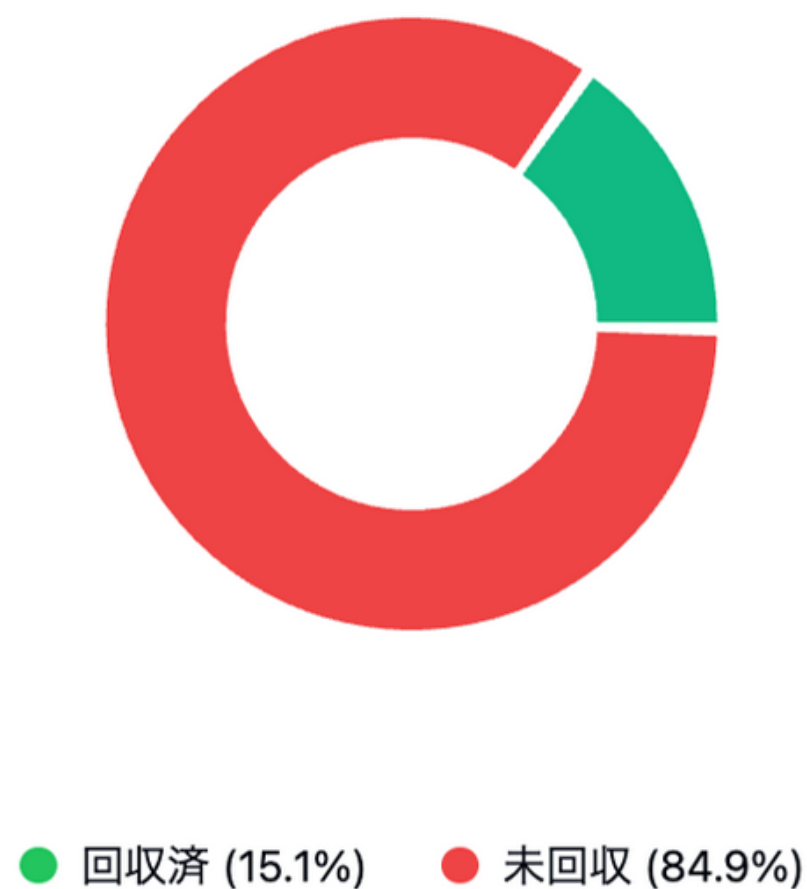
売上予測と投資回収シミュレーション



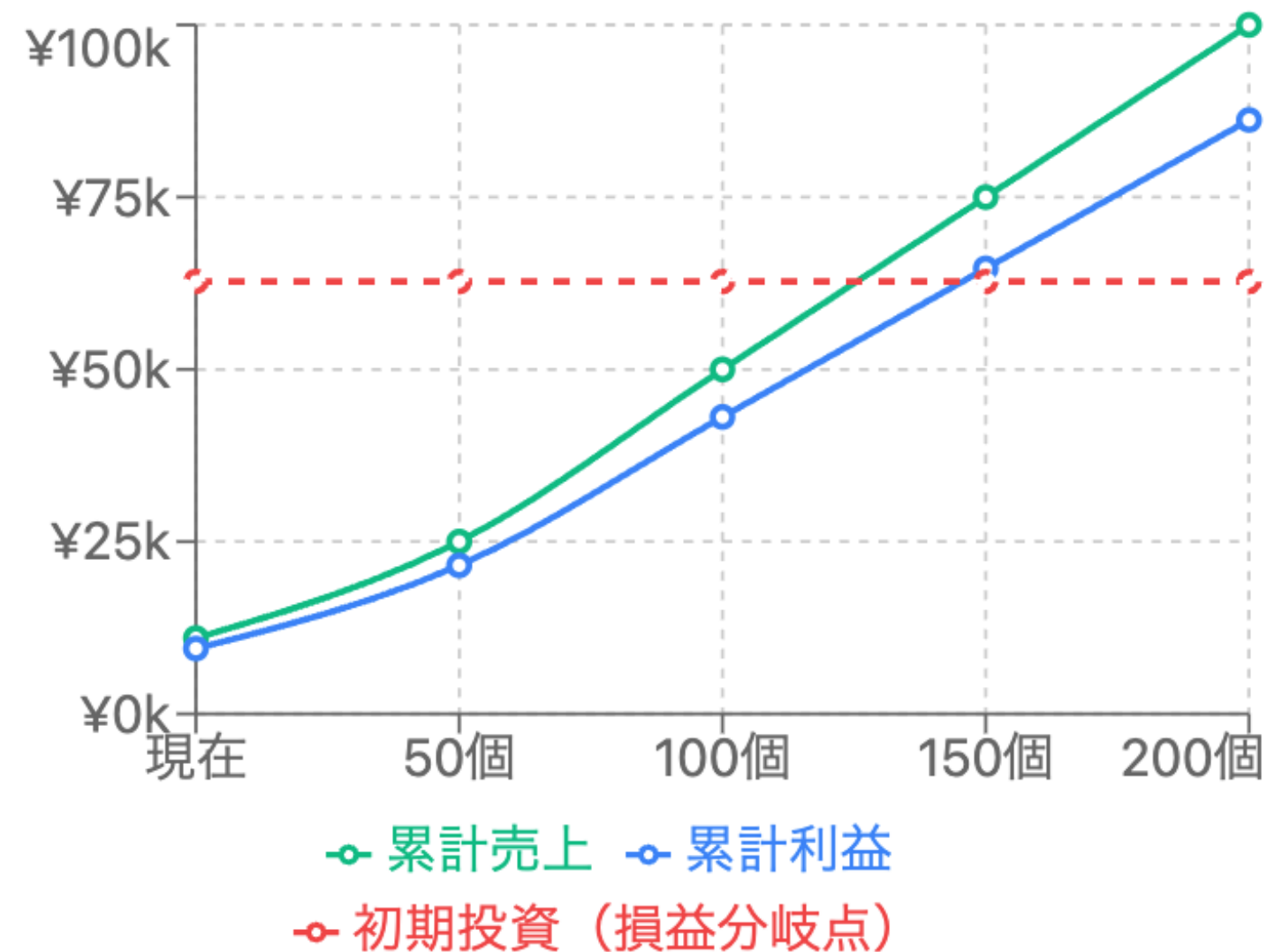
※ 約146個 (¥73,000) の売上で初期投資を回収予定

おまけ

回収状況の内訳



売上予測と投資回収シミュレーション



※ 約146個 (¥73,000) の売上で初期投資を回収予定